

8 センタールーフの重ね葺き工法

8-5 本体施工時の注意事項

- センタールーフは長尺、軽量のため風にあおられやすい商品です。風のある日は特に注意して施工してください。
- センタールーフの上で切断作業を行わないでください。また、センタールーフ本体や付属部材の加工時、切断面に生じたバリおよび切り粉などは取り除いてください。「もらい錆」の原因となります。
- センタールーフ表面および裏面の塗装に傷がつかないように注意します。傷がつくと発錆の原因となります。万一、傷をつけてしまった場合は、必ず専用補修塗料で補修してください。
- シーリング、補修塗料などは使用方法をご確認の上、正しくご使用ください。
- 専用付属部材以外の部材を使用した場合、本体と部材で風合いが異なる可能性があります。必ず専用付属部材をご使用ください。
- 不具合による手戻りを防止するため、施工途中での仕上がりを確認してください。

8-6 本体・付属部材の留め付け

1) 本体の留め付け

- センタールーフは下表の留付材をご使用ください。

工法	下地	既存屋根材	留付材
重ね葺き工法	直張り	セメント系新生瓦 アスファルトシングル	JK1910(ステンレスドリルビスφ4.4mm×55mm) 既存の垂木に固定
	新規耐水合板 重ね張り	セメント系新生瓦 アスファルトシングル	JK1710(ステンレスビスφ4.1mm×27mm) 300mm以下の間隔で耐水合板に固定
葺き替え工法	既存野地板 または 新規野地板	—	①JK500E(ステンレススクリーナールφ2.3mm×50mm) 既存の垂木に固定 ②JK1710(ステンレスビスφ4.1mm×27mm) 300mm以下の間隔で野地板に固定

※エアーネイラーはセンタールーフ釘打ち部を突き破るおそれがあるので、使用しないでください。

2) 付属部材の留め付け

- 付属部材は木製桟木または樹脂製桟木に留め付けます。桟木の種類による施工条件は表の通りです。

桟木	桟木サイズ		付属部材の留付材※2	留め付け間隔
木製桟木	横暖ルーフ	30×40	カラーステンレススクリーナール または ステンレススクリーナール 長さ32mm以上 (現場調達品)	軒先唐草、棟包み、 谷樋用吊り子:300mm以下 上記以外455mm以下
	横暖ルーフα	45～50×45～50		
	けらば水切85・110	18×45		
樹脂桟木 フクビ化学工業製 エコランバー ※1	横暖ルーフ	エコランバー 瓦桟 H4028	止水パッキン付き ステンレスビス φ4.2×32mm以上 (現場調達品)	455mm以下
	横暖ルーフα	エコランバー 瓦桟 M4343		
	けらば水切85・110	エコランバー 瓦桟 N1845		

※1 エコランバーを使用する場合は、下葺材を桟木にまかなくてもかまいません。

※2 付属部材の留付材は桟木を貫通しないサイズを選定してください。ステンレススクリーナールを使用する場合は留め付け後、補修塗料を最小限の範囲で塗布します。

＜樹脂製桟木＞

フクビ化学工業製 エコランバー

※エコランバーに関するお問い合わせは下記へお願いいたします。

フクビ化学工業株式会社 特需開発営業部 大阪特需課 電話:06-6386-6952